

館山

会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

2025 1

会員数 903 名

令和7年1月6日現在

●昭和51年7月10日 第3種郵便物認可 ●令和7年1月10日発行 (毎月1回10日発行) 第684号 ●発行所/館山商工会議所 ●編集発行責任者/専務理事 上野 学 ●〒294-0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL0470-22-8330 FAX0470-23-4011 ●印刷所/株式会社 集賢舎 ●定価 1部 20円 (購読料は会費に含まれています)

謹賀新年



館山商工会議所 HP



新年明けましておめでとうございます

- ◇新年のごあいさつ 館山商工会議所 会 頭 安田信之
- ◇年頭所感 ー新たな成長への飛躍の年にー
日本商工会議所 会 頭 小林 健
- ◇新年のごあいさつ 館山の「魅力、を世界に」
館山市長 森 正一
- ◇新年のごあいさつ 千葉県知事 熊谷俊人
- ◇市内事業所永年勤続優良従業員表彰式を挙行
～市内事業所の従業員 29 名が表彰の栄に浴する～
- ◇職場のかんたんメンタルヘルス
「新しい年の目標の立て方」

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～

利子補給 (1.0%) 制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「(株)日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
貸付限度額	2,000万円
返済期間	10年以内 (*運転資金は7年以内)
利 率	年 1.65% (令和6年12月27日現在)
融 資 対 象	従業員 (家族従事者、パート、法人の役員除く) が商業・サービス業は5名以下、製造業・その他は20名以下の小規模事業者

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。 ☎ 22 - 8330



館山商工会議所

会 頭 安 田 信 之

新年明けましておめでとうございます。

館山市民の皆様、会員の皆様におかれましては、健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より館山商工会議所の事業及び活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、年頭に当たり、今後重点的に取り組む事業について触れたいと思います。先ずは、館山湾の利活用による地域全体の活性化についてです。

現在、多目的観光栈橋の先端部における拡幅工事が進んでおり、本年3月末には工事が完了し、長年の懸案であった先端部での大型バスの転回が可能となります。お客様の乗下船時の利便性向上とともに、今後は、多目的観光栈橋の機能強化と拡充を関係機関に働き掛け、周辺地域の整備による活性化を図っていく必要があります。特に、大型ヨット

や高級クルーザーが寄港できる岸壁の整備と旧安房水産高校跡地の利活用は、大きな可能性を秘めています。今後に向けた課題の一つと捉えて、促進していく考えです。

併せて、船形バイパスの完成を視野に入れた、船形漁港を核とした周辺の整備では、『海業』という新たな切り口での取組が、始まっています。水産資源の活用はもとより、漁港施設をビクターバスとして整備するなどの拠点づくりを中心とした計画が進められています。

この二つの事業の進捗で、海路、陸路の何れのアクセスにも対応できるハードとソフトを構築し、来訪者の満足度を向上させ、リピート率を高め、高質な観光客による経済効果で、地域の活性化と発展が望めます。行政とともに民間活力を十分に発揮して、地域活性化の総合的なビジョンに

基づく整備を進展させなければなりません。官民が知恵を絞り、協働して、取り組んでいきたいと考えています。

二点目は、脱炭素化に向けた取り組みです。現在、当所青年部が、住み続けたい地域をつくるための「脱炭素ロードマップ」を策定して、先ずは、市内の学校施設や公共施設の断熱化による、脱炭素化の一助となる事業を手掛けています。今後は、一般住宅への波及を促して、周辺地域も含んだ地域全体での事業展開が目標です。併せて、各事業所、事業者によるDX化の推進で、紙依存からの脱却と省力化、さらには、生産性の向上へ繋げる取組も重要になります。

令和3年8月、館山市は、2050年を目標に二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を実現するための取り組みを、市民や事業者とともに推進していく宣言をしています。

二つの取組を核として、豊かな自然環境を未来に引き継ぎ、暮らしと社会を持続可能なものとしていくために努力していきたいと考えています。

現下の厳しい経済情勢

から立ち直り、再生していくためには、危機感を共有して、常に改革の意識とスピード感を持ち続け、具体的に行動していくことが求められています。そのために、会頭として、全身全霊で取り組む決意です。

関係者の皆様とともに力を合わせ、この難局を乗り越り、商工業の発展のために尽力していく所存です。ご理解とご協力をお願いするとともに、今年一年が素晴らしい年であり、今年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い致します

里見伏娘牛 HAMBURGER

営業時間 11:00 ~ 16:00 水曜定休
館山市湊 493-24 昭和運送興業(株)となり

法律・税務・商工相談

- 法律 千葉県産業振興センター
- 税務 葛西 博 先生
川名 敏昭 先生
- 商標特許 神崎 正浩 先生

ご相談のときは事前にご連絡下さい。

会 議 所 窓 口 相 談

商工相談
金融相談

毎週水曜日
(電話相談随時
お気軽にご連絡下さい)

日本政策金融公庫
特別金融相談日

毎月第3金曜日
(事前にご連絡下さい)



副 会 頭
小 金 晴 男

【不易流行…守るべき伝統と時代に
応じた変化】

明けましておめでとうございます。
令和7年の新春を迎え、謹んでお
慶び申し上げます。

さて、当会議所は昨年、創立70周
年という大きな節目を迎えました。
これまで私たちが導いてきた先人たちの
知恵と努力に深く感謝し、その歩
みを尊びつつ、不易流行の精神のもと、
伝統を守りながらも時代の変化に柔
軟に対応していくことが重要です。

力強い経済の実現なくして地域の発
展はあり得ません。そのためには、地
域全体の視点に立った具体的な目標設
定と、着実な実行力が必要です。ま
た、次世代が暮らす地域が、今以上
に明るく希望に満ちたものとなるよ
う、行政や三団体をはじめとする関
係者との連携を一層深めることが求め
られています。

70周年を越え、新たな一歩を踏み出
す私たちの取り組みが、地域全体の
発展と繁栄につながるものと確信して
おります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上
げます。皆様にとって、新たな希望と
発展に満ちた一年となりますよう、心
よりお祈り申し上げます。



副 会 頭
幸 田 右 子

新年明けましておめでとうございます。
昨年館山商工会議所は創立70周年を
迎えることができました。これもひとえ
に皆様のご支援ご鞭撻の賜物と厚くお
礼申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、経済の変
動や社会環境の変化が多く、私たちの
企業活動にも次のような影響を及ぼし
ました。1985年に「男女雇用機会均
等法」が施行され早40年となります。
女性の活躍の場はサービス業、小売業、
ITやクリエイティブ産業、環境ビジネス
など多岐にわたり、女性経営者の数も
増加傾向を示すと予想されます。

また政府はプライム市場上場企業に
対し2025年を目途に女性役員を1
名以上選任するよう数値目標を設定し
ています。

このように女性の経営参画がさらに進
展することが期待されます。館山商工
会議所においても女性経営者が増えて
きた現状をふまえ、今後とも女性会員
を増やすとともに皆様の活躍をなお一層
応援・支援して参りたいと存じます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上
げます。皆様のご健勝とご発展を心よ
りお祈り申し上げます。



副 会 頭
白 幡 進

新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様には輝かしい新年をお
迎えることとお喜び申し上げます。
年頭にあたり、昨今の地球温暖化
現象について一言提言させていただきます。

近年、世界各地で豪雨や猛暑など
の異常気象が相次ぎ、地球温暖化の
脅威が顕在化しています。昨年十月、
スペイン東部では二分分の雨量が八時
間の間に降り、二百名以上が死亡す
る洪水が起きたと報道されました。

元々雨量の少ない地域での大被害、
降水量の多い日本だったらと想像する
と背筋が寒くなります。さらに今春、
米大統領にトランプ前大統領が復帰
することにより脱炭素の機運が後退
してしまうのではと心配になります。

私達一人一人の力は小さいけれど、持
続可能な社会を目指すために商工会
議所としてもこの課題に関心をもって
いければと考えます。

結びに、会員企業の充実・発展を
祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹 賀 新 年

館山商工会議所

会 頭 安 田 信 之
副 会 頭 小 金 晴 男
幸 田 右 子

専 務 理 事 上 野 学
常 議 員 伊 豆 倉 和 之
小 笠 原 潤

川 上 加 長 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
小 宮 山 名 山 藤 原 光 俊
佐 藤 興 信

角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
角 田 石 正 正 興 信
角 田 石 正 正 興 信

野 長 角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
野 口 尾 田 石 正 正 興 信
野 口 尾 田 石 正 正 興 信

本 野 長 角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
本 橋 口 尾 田 石 正 正 興 信
本 橋 口 尾 田 石 正 正 興 信

山 本 野 長 角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
山 口 尾 田 石 正 正 興 信
山 口 尾 田 石 正 正 興 信

渡 山 本 野 長 角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
渡 邊 口 尾 田 石 正 正 興 信
渡 邊 口 尾 田 石 正 正 興 信

職 員 一 同

監 事 原 小 川 渡 渡 山 本 野 長 角 館 島 佐 藤 小 宮 川 上 加 長 小 笠 原
林 名 辺 邊 口 尾 田 石 正 正 興 信
林 名 辺 邊 口 尾 田 石 正 正 興 信





日本商工会議所
会 頭 小 林 健

新たな成長への飛躍の年に

明けましておめでとうございませう。
2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混乱の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。また、経済面では米国の経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1月の能登半島地震や9月の奥能登豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありました。また、秋の衆院選では与党が30年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、歴史的円安や物価高が続く中、設備投資は好調で日経平均株価も史上初の4万円台を記録しました。日本銀行はマイナス金利の解除に踏み切るなど、金融政策にも大きな転換点

が訪れました。特に昨年は「賃上げ」をテーマとした1年でもあり、中小企業の賃上げ率も3%台半ばに達するなど、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した1年であったと総括できます。企業の自助努力とともに、官民を挙げた価格転嫁の取り組みが効果を示した結果であります。賃上げを行った中小企業の約6割が収益改善を伴わない中で、人手確保のための防衛的賃上げを迫られたことも事実です。賃上げのモメンタムをいかに持続可能な形に転換するかが、停滞から成長のステージに

向けた今年の大きな課題となります。

（成長の両輪は中小企業の強化と地方創生）

日本は経済立国であり、経済成長なくして将来はありません。デフレ脱却を確実にし、成長型経済への転換を進めるためには、GDPの6割を占める個人消費の拡大が不可欠です。その実現は、全企業数の99.7%、就業人口の約7割、

地方部では約9割を担う中小企業・小規模事業者の生産性向上と持続的な賃上げにかかっていると、いっても過言ではありません。成長の両輪の一つは中小企業であり、そのデジタル化、省力化投資を含めた設備投資、技術革新、知的財産の活用・保護といった生産性向上への不断の努力と自己変革によって付加価値を高め、賃上げ原資を生み出す必要があります。われわれ商工会議所は本年もこうした前向きな挑戦を続ける中小企業を全力で支援してまいります。また、労務費を含む価格転嫁対策のさらなる推進やBTCでは企業側の「値を上げる勇氣」も必要です。消費者にも「良いサービス、良いモノには値が付く」という認識を

持つていただき、国民全体のデフレマインドを払拭することも今年の大きなテーマでありますので、消費者意識の改革とともに経済環境の改善を目指していきたいと思います。

また、成長の両輪のもう一つは「地方創生」です。地方の発展なくして日本の再生はありません。政府、地方自治体、民間が三位一体となり、地域への人材・投資の呼び込みや「稼ぐ産業」の育成、インフラ整備などを通じて地域の経済循環を強化し、地域の強みと潜在力、いわゆる「地域力」を引き上げるべく全力を傾ける年にしなくてはなりません。地域の経済インフラを担う中小企業および小規模事業者の強化は、地方創生の取り組みとも表裏一体です。政府・地方自治体には両者を成長の両輪と位置づけ、地域ごとの特性を踏まえた成長戦略の策定と実行を強く求めたいと思えますし、われわれ全国515の商工会議所も地域経済の再生・活性化の先導役として、さらに活動を強化できる1年にしなくてはなりません。

（大阪・関西万博の成功を
大きな成長の弾みに）

本年4月には大阪・関西万博が開幕いたします。停滞から成長への転換点にあるタイミングでの開催は、象徴的かつ歓迎すべきこととあります。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする20年ぶりの万博開催が、新たな未来をつくる起爆剤となるよう、全国の商工会議所一丸となつて盛り上げてまいります。わが国全体の未来に向けて成長に弾みのつく万博となることを切に願ひ、皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

食のまち「たてやま」をネットワークする
2024年新規オープン

THE SHINRA の新ブランド誕生 五感で奏でる美味なる季

VILLA SHINRA BY THE SEA 百年古民家 Auberge 季節の音

株式会社こがね HANASHIBUKI RESORT GROUP
館山市塩見 233-4 TEL 0470-29-0236

館山の「魅力」を世界に



館山市長

森 正一

明けましておめでとうございませう。皆様方には、健康やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年一年が皆様にとつて実り多き年となるよう、また、館山市がさらに輝きを増す年となるよう、全力で取り組んでまいります。

さて、就任二年目となった昨年を振り返りますと、二月には、館山の自然の中で、地域の観光と農水産業を繋ぎ合わせ、農業や食の体験に加え、様々な交流のできる「道の駅グリーンファーム館山」がグランドオープンいたしました。

五月には、市街地循環パスの車両を環境に配慮した電気自動車に更新し、愛称の「かいまーる」をモチーフとしたラッピングを施し、運行を開始しました。乗り易さと、親しみやすいラッピングが相まって、市民の皆様の買い物や通院、市役所などへの移動手段として大変ご好評をいただいております。

九月には、館山中学校の

新校舎や武道場が完成し、今年四月の供用開始に向けて、最終整備を行っていると

台湾との交流では台南市崇明小学校の皆さんが館山市を訪れ、館山市立小中学校の児童生徒と音楽を通して交流しました。

私自身も十月に、貴所の会頭と共に台湾を訪れ、交流のある自治体や現地の旅行会社、大学等へトップセールスを行い親密度を深め、今後の交流にも確かな手ごたえを感じたところです。今年も引き続き、館山の「魅力」を、海外へアピールしていきたいと思っております。是非お力添えの程、よろしくお願いいたします。

文化・教育面では嬉しい話題と大きな成果があった二年でした。五月には市の指定無形民俗文化財「神余日吉神社のかっこ舞」が明治神宮へ奉納され、十月には「神余かつこ舞復興五十周年記念式典」が開催されるなど、館山の民俗芸能の「魅力」

を多くの人に知って頂くことができました。

また、映画「八犬伝」の劇場公開に合わせ、映画「八犬伝」の特別試写会、映画のヒットを祈願してランタンを二斉に打ち上げる「スカイランタンIN館山城」や、「里見氏の正史」や物語「南総里見八犬伝」に触れる『里見シンポジウム』が開催されるなど、館山が里見の魅力でいっぱいになりました。

さて今年に目を向けますと、令和七年度は『第4次館山市総合計画』の最終年となります。

将来都市像の「笑顔あふれる自然豊かなあつたかふるさと館山」の実現に向けて、市民の皆様、各界団体の皆様と行政が一丸となって取り組んでまいります。

二月には、館山市の偉人であり、資生堂の創業者でもある福原有信氏の功績を紹介する没後一〇〇年記念企画展「資生堂創業者福原有信と館山」を、館山市立博物館で開催します。また三月には、道の駅グリーンファーム館山に、車いすやベビーカーの方が利用する、収穫体験等のできる農業用ハウス等の整備が完了する予定であり、体験プログラムのさらなる拡充に向けて取り組んでまいります。

四月には、館山中学校が移転し、新たな施設での学校教育活動が始まります。現在の館山中学校の跡地については、民間事業者から活用を募ることで、施設の有効活用と地域活性化に向けた取組を展開していきます。

千葉県が「宿泊税」の導入を検討しており、館山市においても「館山市観光事業審議会」を立ち上げ、観光振興に特化した安定的な財源を確保し、様々な取組を広域かつ中長期にわたって継続していきけるように、検討を進めていきます。

子育て環境の充実としては、「こども家庭センター」をコミュニティセンターに設置し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目ない支援を行います。また、四月に開園する「認定こども園OURS館山」では、従来のごども園事業に加え、延長保育事業、一時預かり事業などを行うことで、安心して子育てできる環境を提供していきます。

館山市の財政は、近年の大規模事業の実施に伴う経費に加え、物価高騰による歳出増加が見込まれており、引き続き厳しい状況にあることから、ふるさと納税の拡大や企業誘致等により歳入増

加を図りつつ、地方自治体における行財政運営の原則である「最少の経費で最大の効果を挙げる」ため、効果的かつ効率的な行財政運営を進めていく必要を感じております。

私は令和七年を館山の「魅力」である「ヒト(市民・団体)」「モノ(豊富な食・観光の魅力等)」「コト(多様なイベント)」を、日本全国のみならず、世界に向けて発信する年にしたいと考えています。

本年も市政運営にご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭の挨拶といたします。

「このおだんごは飲み物だ!？」と言われます。あなたは信じますか?

県内有名百貨店などでは1時間行列に並んでも買えないことが多いメディアで話題の逸品です

ご注文ごとに1本1本丁寧に焼き上げますのでお時間がかかりますので事前予約がオススメです!

とろけるみたらしだんご

平284-0036 館山市館山236 不定休/10時~18時 館山城 城山公園内 0470-29-5100



千葉県知事

熊谷 俊 人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

商工会議所及び会員事業所の皆様には、日頃から本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年6月にフィナーレを迎えた「千葉県誕生150周年記念事業」は、多くの企業・関係者の皆様からの御協力をいただき、延べ230万人を超える方々に御参加いただきました。今後の本県の更なる発展に向けて、先人たちが築かれてきた社会基盤や文化を礎として、県の総力を結集しながら、新しい千葉の未来を切り開いてまいります。

「安全・安心」の確立は、県政の土台となるものです。昨年元日に能登半島地震が発生しましたが、本県も同じ半島という地理的特性を有することから、これを教訓として、孤立集落対策や避難所の運営体制の確保、緊急輸送道路の確保等に取り組んでいます。

今後、市町村やライフレイン事業者等との連携を強化するほか、デジタル技術を活用した被災者支援を推進するなど、防災県・千葉を確立してまいります。

県内の景気回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業に対してDX導入のためのプッシュ型支援や専門家派遣等による伴走支援を進めてまいります。また、生産性向上に向けた支援を行うとともに、雇用のミスマッチ解消等による人材の確保・育成を支援してまいります。

観光面では、地域資源の発掘・磨き上げによる観光地域づくりやインバウンドの推進、デジタル技術を活用した観光振興などに取り組んでまいります。

また、今後、新たな観光施策を展開していくうえで必要となる安定財源として、宿泊税の導入を進めてまいります。

全国屈指の農林水産県と

して、「稼げる農林水産業」の実現に向け、規模拡大等を目指す担い手を支援するとともに、スマート技術を活用した取組を支援することで、生産性の向上や作業の効率化を図ってまいります。

また、生産量日本一の梨や、需要が拡大しているさつまいもなど本県の顔となる品目の重点的なプロモーションを行うことで、新たな販路拡大や魅力発信に取り組んでまいります。

さらに、農林水産物の輸出を一層活性化させるため、昨年新たに策定した取組方針に基づき、成田空港や成田市場を活用して、継続的かつ戦略的に取組を進めてまいります。

令和10年度末に第3滑走路の新設を含めた更なる機能強化が予定されている成田空港では、昨年、新旅客ターミナルの目指す姿などが盛り込まれた「新しい成田空港」構想が示されるなど、重要な時期を迎えています。

そのため、県としても、暮らしや産業の拠点として選ばれる「エアポートシティ」実現に向けた検討を行うとともに、国家戦略特区の活用や、空港を核とした物流・産業拠点の形成等に向けた取組を行ってまいります。

引き続き、地域と空港の発展が好循環する地域づくりを推進してまいります。

道路ネットワークは、本県の半島性を克服し、県内を活性化していくための重要な基盤です。

首都圏中央連絡自動車道や北千葉道路の早期整備、富津館山道路の4車線化を促進するとともに、その整備効果を県内全域に波及させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどのアクセス道路の整備を積極的に進めてまいります。

新湾岸道路や千葉北西連絡道路は、沿線市とともに、計画の早期具体化に向けて取り組んでまいります。

アクアラインで土日・祝日に実施中の時間帯別料金の実験については、4月から上り線(川崎方面)の通行料金の変動幅を下げ、下り線(木更津方面)でも新たに導入する予定です。

引き続き、アクアラインの効果もさらに発揮できるよう取り組んでまいります。

成田空港の更なる機能強化や、広域的な幹線道路ネットワークの整備進展などにより、本県の向上するポテンシャルを生かし、20年、30年先の将来を見据えた新たな産業・地域づくりに向けて戦略的な取組を進

めてまいります。

さらに、企業誘致を推進するため、企業誘致セミナー等において県の魅力をPRするとともに、立地企業補助金の充実を図ります。

併せて、市町村や民間事業者とも連携の上、産業用地の確保に努めてまいります。

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた動きを、環境保全と経済成長の好循環を創出する絶好の機会と捉え、太陽光発電や洋上風力発電による再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、京葉臨海コンビナート等の脱炭素化を推進してまいります。

さらには、省エネ住宅の普及や次世代自動車の導入などによる脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すなど、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めてまいります。

本年も、県政の各分野において様々な挑戦や未来への投資に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

結びに商工会議所及び会員事業所の皆様のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

29名が表彰の栄に浴する おめでとうございます！

市内事業所永年勤続 優良従業員表彰式を挙



代表者謝辞 高橋 淳さん

館山市と館山商工会議所が共催する、令和6年度市内事業所永年勤続優良従業員表彰式が、12月4日（水）館山商工会館で挙行されました。
この表彰制度は、他の模範となる勤労意欲と誇り高い愛社精神で、永年にわたり所属企業の発展に尽力し、さらに地域経済を力強く支える原動力である優秀な従業員を表彰する、権威の高い表彰制度です。
今回表彰された方は、館山市長・館山商工会議所会頭表彰、勤続30年以上5名、勤続20年以上5名、勤続10年以上19名、合計29名の皆様です。氏名及び事業所名は次のとおりです。（敬称略）



30年以上代表 小川正美さん

館山市長・館山商工会議所
会頭表彰
◇勤続30年以上 5名
高橋 淳（株岡部建設）・小川正美（房州物流株）・天野晴香（房州物流株）・長谷川展洋（株石井工務店）・田中智史（有房州日日新聞社）



20年以上代表 長尾光広さん

◇勤続20年以上 5名
伊藤浩伸（株山八）・上野健治（株山八）・鈴木直也（株山八）・長尾光広（株房洋堂）・川名千登世（有房州日日新聞社）

◇勤続10年以上 19名
川名康子（ホテルマイグランド）・庄司江利子（ホテルマイグランド）・井坂和也（極洋船舶工業株）・鈴木 翔（極洋船舶工業株）・石井利郎（株岡部建設）・外間靖男（株岡部建設）・黒川正則（株岡部建設）・若王子寿子（株山八）・松岡秀雄（昭和運送興業株）・金子俊治（昭和運送興業株）・和泉直樹（昭和運送興業株）・高橋隆広（株スノー・フィード・サービス）・田村健太（房州物流株）・大溝 卓（館山信用金庫）・川名喜貴（館山



10年以上代表 鈴木 翔さん

信用金庫）・佐久間耕一（館山信用金庫）・鈴木ないる（館山信用金庫）・安田貴宏（有房州日日新聞社）・福岡慶一（有房州日日新聞社）

<p>充実した設備と 細かいサービス 大型カラー印刷機完備！！</p> <p>○チラシ・パンフレット印刷 ○オンデマンド印刷 データ入稿～印刷～製本 ○記念誌・自分史・郷土史 写真集・自費出版 etc…</p>	<p>SHUNSHA 株式会社 集賛舎</p> <p>館山本社・館山工場 館山市山本226 〒294-0014 TEL.0470-22-2277 FAX.0470-23-2278</p> <p>千葉支社（経営本部） 千葉市中央区生実町2498-8 〒260-0813 TEL.043-300-8661 FAX.043-300-8665</p> <p>お気軽にお問い合わせください</p>
--	--

〈館山市、館山信用金庫と連携協定を締結〉

令和6年12月18日(水)、当所は館山市と館山信用金庫との包括連携協定を締結した。

市役所で開催された協定締結式には、森正一館山市長、利田秀男館山信用金庫理事長、当所からは安田信之会頭が出席し協定書にサインを交わした。

この連携協定は、当所と館山市、館山信用金庫が、相互の連携協力により、地域社会の発展と地域経済の活性化を図るため、それぞれの機関が有する機能、人材及び情報、ネットワーク等を有効に活用し、連携して、地域社会の発展と地域経済の活性化を図ることを目的としている。

具体的な連携・協力事項は以下のとおり。

- ①起業・創業、事業承継及びデジタル化等経営支援に関する事
- ②企業誘致及び投資促進に関する事
- ③人材の確保・育成及び雇用創出に関する事
- ④販路拡大及びビジネスマッチングの支援に関する事
- ⑤農林水産業の6次産業化等の振興に関する事
- ⑥中心市街地活性化及び観光の推進に関する事
- ⑦移住・定住促進及び子育て支援等に関する事
- ⑧公的助成・支援制度の金融支援に関する事
- ⑨災害時における支援に関する事
- ⑩地域連携に関する事
- ⑪SDGsに関する事



職場のかんたん メンタルヘルス

「新しい年の 目標の立て方」

新しい年を迎え、「今年こそ！」と前向きな気持ちで目標を立てている人も多いと思います。思い描いたことをぜひ実現したいですよね。そのためにはモチベーションを持続させることが大切です。

そこで、少し記憶をさかのぼっていただきたいのですが、昨年の年頭の抱負は何でしたか。それを達成できましたか。もし、残念な結果となり、今年こそと思われるなら、少し目標の修正が必要かもしれません。まずはできなかったことを踏まえて、現時点での状況を書き出してみましょう。

例えば、「部屋の整理整頓ができない」「資格試験の勉強ができない」のような感じです。書き出したら、文末の「できない」を「しない」に変えてみます。「部屋の整理整頓をしない」となります。それを見てどう感じたでしょうか。できないのではなく、しなかっただけです。行動に移さなかった、もしくは続かなかったのは自分の意思でもあるのです。

「ま、いいか」と思ったり、考えるだけで面倒になってしまったりしたのかもしれませんが。つまりそれは、その目標があなた自身の中で優先順位の低いものだったこととなります。それをあえてまた目標に掲げるのではなく、切り捨ててしまうことをお勧めします。「いや、そんなことできない」と、反発心が芽生えるなら、試しにそれに関する事を今すぐに始めてみましょう。「でも、時間が。お金が」と、行動に移せない理由を考えてしまうようなら、その目標はおそらく今年も達成できません。

しかし、小さな目標であれば、負担も少なく取り掛かれます。例えば、資格試験の問題集を週末に3時間解くよりも、毎日3問という目標が良いのです。「たった3問だなんて」と思うかもしれませんが。でも、「週末3時間できなかった」と思うたびにモチベーションが下がり、続けられなくなる可能性が高いです。一方、「毎日3問取り組めた」という達成感ひけつはモチベーションを高めていきます。そして、日数がたてばたつほど、その差は開きます。1年後には1000問を突破できるからです。

目標を達成するためには、すぐ簡単にできるところから始め、持続させることが成功の秘訣です。達成感ひけつはモチベーションに変換され、好循環を生みます。自分にとって簡単にできて、ハードルの低いところから、今すぐに開始しましょう。